



ドクター・ギブソンの

「子どものADD（注意欠陥障害）、ADHD（注意欠陥・多動性障害）、
自閉症」

～どのように予防し、
改善するか？～



quest group
クエストグループ

菊池みどり



- クエスト・グループのリージョナル・セールス・ディレクター
- 起業家
- 健康業界に携わり、15年以上のキャリア
- 日本女性の精神的、経済的独立を支援し、啓蒙・教育活動を行う



quest group
クエストグループ

ドクター・ロバート・ギブソン



- 脳神経科医／自然治癒医師
／カイロプラクター
- 臨床神経科学と栄養生理学
の権威
- 西洋医学とホーリスティック・
サイエンスを見事に融合
させ患者にもっとも安全で、
ナチュラルな療法を提供



親の葛藤

ADD/ADHD、自閉症、アスペルガー症候群、学習障害、トゥレット症、その他の障害がある子どもを持つ親は、子どもを助けようと長い年月を費やしている



悲しいことに、親たちは、医者から、「あなたのお子さんにできる治療は、投薬以外にはありません」といわれる。



新しいリサーチと希望

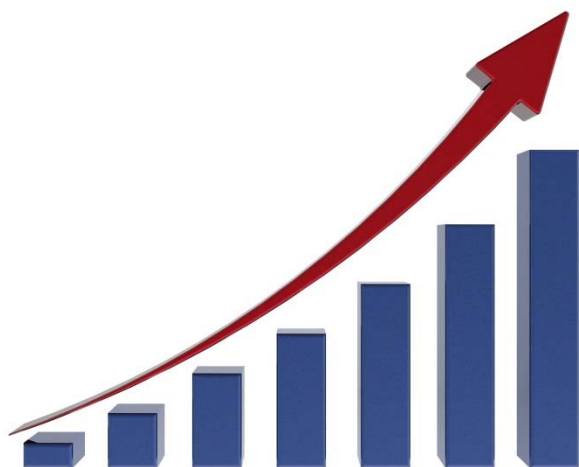


最近のリサーチでは、このような子どもたちを救うことができるということが証明されている。

「どんなに脳の問題が深刻であろうとも、あらゆる子どもは、改善する可能性を秘めている」というのが私の長年の研究での結論である。



症状で悩む子どもたちの増加



— アメリカでは、これらの症状が、非常に流行しており、日本でも急激にこれらの症状に悩む子どもたちの人数が増加している。

私の治療のプロトコルとブレインフォーミュラ「ネオセル」を実践すると、希望が持て、改善することができる



quest group
クエストグループ

脳の障害の原因となるもの？



原因となるものは、ある1つのもの
に限定することができない。

幾つかの要因が重なることが原
因となり、それらが脳をダメージ
している。

主な原因となるものは、人工的に
作られた、薬物やワクチンである。



quest group
クエストグループ

その他の原因



- 母親の妊娠中の食生活と健康度
- 遺伝的傾向
- 環境からの毒物
- 神経のコミュニケーションをダメージしてしまう、誕生時のトラウマ
- 誕生時(数ヶ月、数年後)の栄養と食生活



quest group
クエストグループ

これらを未然に防ぐには？



1) ビタミンとミネラルが豊富に配合されている「ネオパック」、ブレインフォーミュラ「ネオセル」で必要な栄養素を補給する。

2) ジャンク・フードや加工食品など、6000種類以上にも及ぶ有毒物質が含まれる食べ物を食べない。

3) 薬の摂取をしない、ワクチンなどの接種を行わない



quest group
クエストグループ

栄養不足

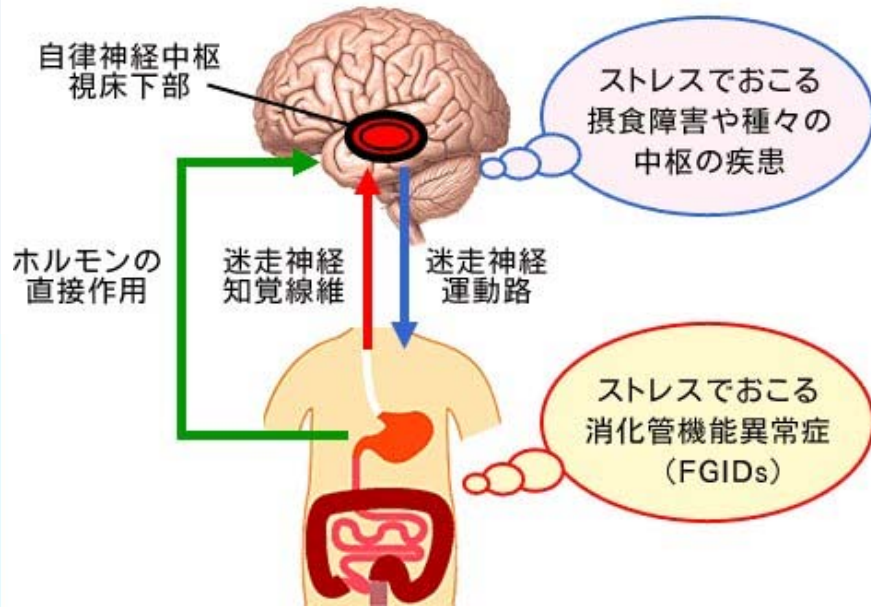


栄養面での要因は、栄養不足と食べ物に含まれている毒物ということが考えられる。

過去において遺伝的なことが原因であると論理づけられたケースもあるがそれが必ずしも正しいということでもない。

あなたの第2の脳

脳が消化管機能を支配し、
消化管も脳機能を支配する！



神経行動的障害を
持つ子どもには、必ず、
栄養と消化器官に
大きな問題がある



quest group
クエストグループ

脳のダメージを防ぐ



ワクチン、神経の毒になる物質
を避けることが重要。

これらの注射などを行うことで、
脳のダメージは、どんどん悪化
し、深刻な神経のダメージに
なっていく。



quest group
クエストグループ

脳のダメージを防ぐ



ワクチン、神経の毒になる物質を避けることが重要。

これらの注射などを行うことで、脳のダメージは、どんどん悪化し、深刻な神経のダメージになっていく。



quest group
クエストグループ

私の治療は、他とどのように異なるか



ほとんどの治療プログラムは、
脳の神経生理学にしかフォーカス
していないことが問題。

これは治療の1つの要素にしか
過ぎない。

脳細胞を修復し、腸内環境を整え、
それから脳の再プログラムが相乗
効果で行われなければならない。



quest group
クエストグループ

「ネオセル」は必需品



「ネオセル」は、最も重要な要素ですが、その他の必須の栄養素、食事、デトックス、神経のサイロプラクティック治療などと組み合わせることが重要である。

精神盲や連絡切断症候群（離断症候群）などの問題も改善できる。

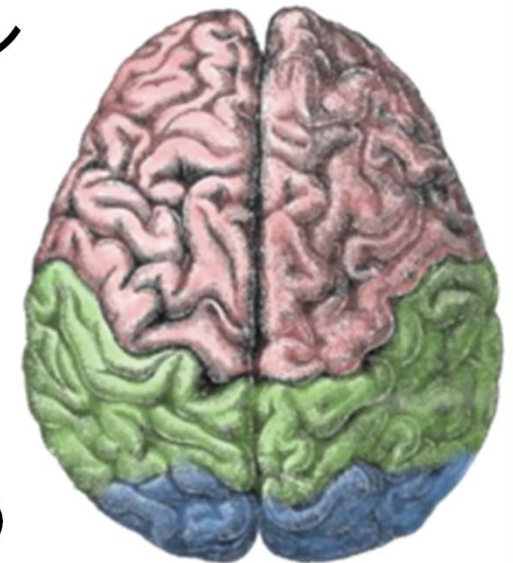


連絡切断症候群（離断症候群）

外的な症状は、離断症候群が原因である。これは、右脳と左脳がお互いコミュニケーションを取れなくなった状態である。

一方の脳が非常にゆっくり機能するので、もう一方の脳と情報をシェアしたり、比較することが正確にできない。

よって、機能している側の脳が、もう一方の脳と連結しなくなっていく。



quest group
クエストグループ



孤立している子ども



右脳と左脳が連動しなくなることで、
世の中から孤立してしまう

自分の体からも、感覚からもディスコネ
クト(離脱した状態)してしまう

社会的にも、感情的にも離断されている

ゴールは、右脳と左脳のコミュニケー
ションを円滑にしていくこと



quest group
クエストグループ



子どものためにどうしたらいいか？



私の統合的なプログラムは、薬、危険な治療、心理療法などに頼らない方法である。

二人として同じ子どもがいないのと同じように、治療もそれぞれ異なったものを行っている。

ドクター・ギブソンのプロトコルと呼ばれる、基本的なヘルスプランから開始している。



ドクター・ギブソンの必須プロトコル1



- 食べ物に含まれる毒物、ジャンクフードを全て避ける
- 水をたくさん飲む
- 環境的な毒物、そして、薬物などを避ける



quest group
クエストグループ



ドクター・ギブソンの必須プロトコル2



- デトックスで、胃腸など消化器官のバランスを再生する。
- 「でるサポート」、「おなかサポートチュアブル」などで善玉菌を増やす
- 体内に多く毒物が溜まっている場合は、食生活の改善と「でるもんねプログラム」などを実践し、さらにデトックスを行う必要がある場合もある。



quest group
クエストグループ

ドクター・ギブソンの必須プロトコル3



- 栄養のバランスの良い食事を摂り、さらに「ネオパック」で健康になる土台作りをする
- 「ネオセル」で脳細胞を効果的に修復し、神経伝達物質を増やす

ドクター・ギブソンのプロトコルは、
ブログに掲載：ameblo.jp/drgibson/



私のゴールは、たくさんの子ども
たちが、体、精神面、社会性、学問
において最高の能力を発揮できる
よう手伝うこと



quest group
クエストグループ

今日から始めて、あなたのお子さんの
新たな可能性を見出しましょう！
お子さんが幼ければ幼いほど、
治療の効果は高くなるのです



quest group
クエストグループ

ケーススタディ: 9歳で、81キロの少年



- さまざまな学習障害とADD
- 喘息、慢性的な全身の痛み、頭痛、言葉が不明瞭、消化器官の問題、便秘
- ダイエットコーラやポテトチップスを食べて生活していた。その他は、マクドナルドで食事をしていて、水はほとんど飲んでいなかった

ケーススタディ: 9歳で、81キロの少年



- 「ネオセル」をはじめ、マルチビタミン、カイロプラクティックの調整などプロトコルを実践。
- 少しずつ果物、野菜、新鮮な肉類などを食事に加えた。

2ヶ月目: ダイエットコーラをやめて、薬の半分も不要になった。頭痛、便秘が解消し、10キロ減量

3ヶ月目: 全ての薬が不要になった。先生たちが、彼の改善をレポートした。さらに、7キロ減量。

4ヶ月目: トータルで23キロ減量。身長が伸び始めた。学校の勉強、活動などにも追いつけるようになり、性格も親しみやすくなった★

ドクター・ギブソンから学ぼう！



ドクター・ギブソンのブログとフェイスブックページで、脳を改善し、人生を改善する方法を学ぶことができます。ぜひ、以下から、ご訪問ください。

ブログ：ameblo.jp/drgibson/

フェイスブック・ページ：

www.facebook.com/DrRobertGibson

「いいね」をクリックしてくださいね。



quest group
クエストグループ

